

2019年12月2日

「東京 2020 パラリンピック競技大会」

水泳競技推薦選手選考方針と基準について

(一社) 日本知的障害者水泳連盟

(一社) 日本身体障害者水泳連盟

I 方針

2019年6月6日付公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会(以下「JPC」という)の「日本代表選手団編成方針」を基に、社会規範を遵守し、公平性・誠実性・協調性に基づき行動できる選手を、東京2020パラリンピック競技大会水泳日本代表選手選考委員会(以下「選考委員会」という)が選考し、日本知的障害者水泳連盟の常務理事会及び、日本身体障害者水泳連盟の常務理事会の承認を経て、JPCへ推薦する。

選考にあたっては、JPCの選手選考基準に基づき、メダル獲得または入賞の可能性のある選手を選考することを基本とする。なお、選考はMQS突破者等のクラス分けに係る出場資格確定が5月頃となるため、第1次選考(3月8日)と第2次選考(5月中旬)に分けて選考する。

II 選考基準

1. 2020年2月15日(予定)に、世界パラ水泳連盟(以下「WPS」という)からMQS突破選手枠数が配分された後、日本へ与えられた男女別枠数の範囲内で選考する。

2. 第1次選考と基準

(ア) 第1次選考

2020年3月8日に開催予定の第1次選考委員会において、2020年3月6日から8日開催の「2020パラ水泳春季記録会兼2020日本代表選手選考戦(以下「選考戦」という)」の記録を基準に、国際パラリンピック委員会 International Paralympic Committee (IPC)が定める東京2020パラリンピック競技大会出場資格を満たしている選手の中から、派遣基準記録を突破した選手を選考する。

(イ) 個人種目選考基準

① 2020年3月6日から8日開催の「選考戦」において、別に定める派遣基準記録

(WPS が公表している 2019 年 11 月 3 日 17:10 時点 (日本時間) の東京 MQS ランキング 3 位の記録に対する到達度 98%の記録) を突破した選手。

* 派遣基準記録は、メダル獲得の可能性を基準として設定した。

* 派遣基準記録の計算は次の計算式で行った。

派遣基準記録 = MQS ランキング第 3 位の記録/0.98

- ② ①の基準を突破した選手が同クラスに 4 名以上いる場合には、上位 3 名を選考する。
- ③ ②において、同タイムの選手が複数存在するために上位 3 名を決定する事が出来ないときは、スイムオフにより決定する。スイムオフの実施方法はその都度決定する。
- ④ 派遣基準を突破した選手の数、WPS より与えられた男女別枠数を超えた場合、①の東京 MQS ランキング 3 位の記録に対する到達度の高い選手から順に選考される。
- ⑤ ④の結果、同じ到達度の選手が複数存在するため順位付けが出来ない場合、2020 年 3 月 6 日 7:00 時点 (日本時間) での東京 MQS ランキングのより上位の選手から順位付けをする。
- ⑥ ロンドン 2019 パラ水泳世界選手権にて優勝し、推薦内定を与えられた 3 名の選手 (木村敬一、東海林大、山口尚秀) は、「選考戦」に出場することにより推薦が決定する。
- ⑦ ⑥の 3 名の推薦内定選手が、「選考戦」になんらかの理由により出場できなかった場合は、選考委員会にて推薦の可否を審議、決定する。

(ウ) リレー種目

- ① メダル獲得または入賞の可能性のあるリレー種目の対象選手を、第 2 次選考委員会にて選考する。
- ② リレー派遣基準記録の設定はしない。
- ③ 2020 年 3 月 6 日から 8 日開催の「選考戦 (リレー選考タイムトライアル含む)」では、リレー対象種目の記録を基に、各クラス上位から記録順にリストアップする。
- ④ ③の結果、同クラスに同タイムのものが複数存在するために、順位付けが出来ない場合、スイムオフを実施する。スイムオフの実施方法はその都度決定する。

3. 第2次選考と基準

5月中旬に開催予定の第2次選考委員会において、その時点でIPCが定める出場資格を満たしている選手の中から、「選考戦」の記録を基準に選考する。

(ア) 個人種目

- ① 「選考戦」の結果が反映された時点のWPSが公表する東京MQSランキングにおいて、上位選手から下位選手へ順位付けを行う。この順位付けは、男女別に行う。^{*1}
- ② ①の結果、複数選手が同順位となった場合、「選考戦」の結果が反映された時点のWPSが公表する東京MQSランキング3位の記録に対する到達度の高い選手から順位付けを行う。

(イ) リレー種目

- ① 「選考戦」の記録を基準に、リレー種目ごとに4名の合計記録で最も速い組み合わせのチームを編成する。
- ② ①で編成されたチームの合計記録を基に、「選考戦」の結果が反映された時点のWPSが公表する東京MQSランキングに当てはめて、上位チームから下位チームへ順位付けを行う。^{*2}
- ③ ②の結果、複数チームが同順位となった場合、「選考戦」の結果が反映された時点のWPSが公表する東京MQSランキング3位の記録に対する到達度の高いチームから順位付けを行う。
- ④ リレー種目の選考は、対象選手4名の合計記録で選考するため、3.(ア)の個人種目では順位が下位であっても選考されることがある。

(ウ) 個人種目とリレー種目の順位付け

- ① 「選考戦」の結果が反映された時点のWPSが公表する東京MQSランキングにおいて、個人種目とリレー種目の区分けなく、上位から下位へ順位付けを行う。この順位付けは、男女別に行うが、リレー種目のミックスについては男女両方に順位付ける。
- ② ①の結果、複数チームが同順位となった場合、「選考戦」の結果が反映された時点のWPSが公表する東京MQSランキング3位の記録に対する到達度の高い選手（リレーの場合はチーム）から順位付けを行う。

- * 1 東京 2020 パラリンピック水泳競技のエントリーには、「NPC は、メダル対象種目 1 種目につき出場資格をもつ選手を最大 3 名までエントリーすることができる」とされている。その為、MQS ランキング 1 種目につき同じ NPC の選手が 4 名以上いる場合は、1NPC につき上位 3 名までに絞ったランキングを採用する。

例示

MQSランキング			NPC	1 NPCにつき3名のMQSランキング		
1	A選手	JPN		1	A選手	JPN
2	B選手	JPN		2	B選手	JPN
3	C選手	JPN		3	C選手	JPN
4	D選手	JPN	← 4 人目になる為、ランキングから除外する	4	E選手	GBR
5	E選手	GBR		5	F選手	USA
6	F選手	USA		6	G選手	ITA
7	G選手	ITA		7	H選手	CAN
8	H選手	CAN		8	I選手	AUS
9	I選手	AUS		9	J選手	AUS
10	J選手	AUS		10	K選手	GER

1NPCにつき3名に絞る

繰り上がる

また、MQS ランキング掲載の記録は 2018 年 10 月 1 日以降に MQS を突破した最も早い記録が掲載されている為、「選考戦」の記録が MQS に掲載されている記録より遅い場合がある。その場合は、「選考戦」の記録を当てはめて「ランキング順位相当」として評価し、順位付ける。その際、MQS ランキング掲載の記録は除外した上でのランキングとする。

例示

MQSランキング	NPC	記録	選考戦での記録	選考戦の記録を当てはめたMQSランキング	NPC	選考戦での記録	順位付け	
1	A選手	JPN	25.00	25.00	1	A選手	JPN	25.00 (1位)
2	B選手	JPN	26.00	29.00	2	C選手	JPN	27.00 (2位相当)
3	C選手	JPN	27.00	27.00	3	E選手	GBR	28.00
4	E選手	GBR	28.00		4=	B選手	JPN	29.00 (4位相当)
5	F選手	USA	29.00		4=	F選手	USA	29.00
6	G選手	ITA	30.00		6	G選手	ITA	30.00
7	H選手	CAN	31.00		7	H選手	CAN	31.00
8	I選手	AUS	32.00		8	I選手	AUS	32.00
9	J選手	AUS	33.00		9	J選手	AUS	33.00
10	K選手	GER	34.00		10	K選手	GER	34.00

- * 2 個人の記録を合計している為、リレー種目として MQS ランキングには掲載されない。その為、合計記録をランキングに当てはめて「ランキング順位相当」として評価し、順位付ける。

例示

MQSランキング	記録	選考戦での記録の合計タイム	選考戦の記録の合計タイムを当てはめたMQSランキング	選考戦での記録の合計タイム	順位付け	
1	GBR	3:50.00		1	GBR	3:50.00
2	USA	3:55.00		2	USA	3:55.00
3	ITA	4:00.00		3	ITA	4:00.00
4	CAN	4:05.00		4	CAN	4:05.00
5	AUS	4:10.00		5	JPN	4:09.00 (5位相当)
6	JPN	4:15.00	4:09.00	6	AUS	4:10.00
7	RUS	4:20.00		7	RUS	4:20.00
8	GER	4:25.00		8	GER	4:25.00

Ⅲ 選考に前後して必要な準備と日程

1. 推薦選手が決定される前後に、対象となる選手は準備として WPS、JPC、連盟に対して様々な手続きが必要である。正式には別途通知するが、概ねその時期や、提出書類及びその対象選手は下記に示す通りである。手続きに必要な書類を理由なく期限までに提出しない選手は、推薦を辞退したものととして取扱う。

(ア) 2019 年 12 月以降

2020 年 WPS アスリートライセンス登録

(WPS アスリートライセンス登録の新規または継続者等の手続きを行う)

(イ) 2020 年 1 月以降

日本選手団公式ユニフォームの採寸 (対象選手、条件は追って通知する)

(ウ) 2020 年 2 月から 5 月

WPS が定めるクラス分けに係る出場資格の確定

(出場資格はクラスステータスが C 又は、R2021 以降。MQS 突破選手で N、R、R2020 以前の選手は別途通知する)

(エ) 2020 年 4 月頃

健康診断 (MQS 突破選手)

(オ) 2020 年 4 月初旬

① 東京 2020 パラリンピックのアクレディテーション関係書類の提出

② 東京 2020 パラリンピックの推薦調書関係書類の提出

(対象選手は、3 月選考戦後に通知する)

(カ) 5 月中旬推薦選手の決定以降

速やかに東京 2020 パラリンピックの水泳競技エントリー種目等の調査

Ⅳ その他

この方針に定めのない事項が生じた場合は、選考委員会が審議し決定する。

—参考—

(ア) 2019 年 6 月 6 日付 日本パラリンピック委員会

東京 2020 パラリンピック競技大会日本代表選手団方針及び選手選考・決定手順

(イ) 東京 2020 水泳競技出場資格・メダル配分・日程など基準参考翻訳及び英文

以 上